

# 令和1年度 事業報告書

平成31年 4月 1日から 令和2年 3月 31日まで

特定非営利活動法人ちんじゅの森

## 1 事業の成果

(ちんじゅの森サロン「ほぐほぐ」)

〈季節の行事・田畑の仕事・オープニング〉

先人の知恵を学び、体感することを目的に、季節の手仕事や年中行事を軸に置いた活動を行なった。NPO設立後から築いてきた各地域とのつながりによって、保存食を作る際には地方の生産者から直接に作物を仕入れ、参加者とともに作った。その作物はどんな風景のどのような土地で、どのように育てられ、収穫され、いま自分の目の前に届いたか。食べ物は自分の命の根源、もっと言えば、命そのものであるにもかかわらず、都市の生活ではそれを感じにくい。自分の命がどこにつながっているか。活動一つ一つは小さいが、それを確認できる機会となった。

活動の広がりについては、開設当時は、知人の集まりからであったが、近隣の店等が告知に協力してくれるようになり、区の社会福祉協議会の人たちと出会ったことで、社協の告知サイトに掲載していただくこともできた。また、その他民間の無料告知サイト等の活用を通して、費用をかけずに少しずつ周知できる範囲が広がった。それに伴い参加者も増加したが、施設の規模としては、参加者は30名が限界でもある。近隣に住む方や日本女子大学の学生によるボランティアとしての協力も得られ、幅広い年代のつながりをつくることができた。

〈人間は何を食べてきたか〉

これからの社会の担い手である若い世代とつながりを望み、近距離にある日本女子大学食物学科のゼミ生とのご縁を得た。人間の命の根源である「食べること」について、「食べること」と「生きること」とともに考え、話し合う時間を創出した。大学教育の専門性の学びとは異なる価値を汲み取る学生もおり、ここでの手応えから「食べる と 生きる」という事業を次年度から一般に公開して行っていくことが決まった。

〈総括〉

「知る、感じる、気づく」活動、これが第一の層をなす。第二の層は「考える、話し合う、深める」。さらに次の段階が、「(考えたことから) 行動する」と言える。その意味で、今年度は第一の層にある「知る・感じる、気づく」活動に重きを置いた。次年度以降、第二・第三の段階を目指す。

令和1年度は、新たな拠点で活動していく足掛かりとして、近隣住民の方々、社会福祉協議会を通じた様々な人、他団体との出会い、日本女子大学の学生との出会いと人間関係の構築が主たる成果であった。

また、今年度の新規会員は23名。総会員数は、前年度の106名から、今年度は120名に増えた。

(月の宴)

初の「月の宴」も、お客さんの五感と身体で感じてもらう活動であった。古来、一年で最も美しいとされる中秋の名月に、夜風を感じながら、月あかりのもとで、趣旨に賛同してくださる豪華なアーティストによって奏でられる音楽、歌、物語。夏休みに子供たちが絵本作家あべ弘士氏とともに制作した行燈のほんのりとした光の演出があり、アーティスト・参加者が一体となって月夜の舞台をつくり上げた。

(ちんじゅの森の物語)

「ちんじゅの森の物語」は、日本の伝統に親子に親しんでもらうための催しのエンターテインメント部門を担っている。今年度は、「こどもの日」を紙芝居師と布芝居を行うアーティスト両人のパフォーマンスによって、お米の収穫祭を女性トリオによる「お米ちゃんの冒険」というオリジナル劇によって伝えた。子供だけでなく保護者にとっても日本の暮らし、お米に関心をもっていただく機会となった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

### (2) その他の事業 なし

#### 「ちんじゅの森サロン」季節の行事

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(2) ちんじゅの森の知恵の普及啓発活動を主とした教育、音楽制作、映像制作、催事事業 / (4) コミュニティとしての『ちんじゅの森づくり』活動に関する音楽制作、映像制作、教育、出版事業	季節の手仕事・年中行事 ①らっきょうの甘酢漬けづくり ②梅干しづくり ③行燈づくり ④藍の生葉染め ⑤柿いろいろワークショップ ⑥お米と芋煮のワークショップ ⑦注連縄・注連飾りをつくろう ⑧小正月 - 餅つきと繭玉を楽しむ -	①6月16日 ②6月30日 ③8月9日 ④9月1日 ⑤10月27日 ⑥11月24日 ⑦12月8日 ⑧1月19日	ちんじゅの森サロン「ほぐほぐ」	①4名 ②5名 ③7名 ④5名 ⑤7名 ⑥13名 ⑦6名 ⑧14名 合計61名	①13名 ②13名 ③21名 ④16名 ⑤17名 ⑥29名 ⑦21名 ⑧33名 合計163名	①16 ②20 ③60 ④20 ⑤36 ⑥23 ⑦18 ⑧25 合計218千円

#### 「ちんじゅの森サロン」人間は何を食べてきたか

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(2) ちんじゅの森の知恵の普及啓発活動を主とした教育、音楽制作、映像制作、催事事業 / (4) コミュニティとしての『ちんじゅの森づくり』活動に関する音楽制作、映像制作、教育、出版事業	「生きること」「食べること」を考え話し合う ①じゃがいもの会 ②肉の会	①11月1日 ②1月7日	ちんじゅの森サロン「ほぐほぐ」	①3名 ②3名 合計6名	①24名 ②19名 合計43名	①10 ②6 合計16千円

#### 「ちんじゅの森サロン」田畑の仕事

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(2) ちんじゅの森の知恵の普及啓発活動を主とした教育、音楽制作、映像制作、催事事業 / (4) コミュニティとしての『ちんじゅの森づくり』活動に関する音楽制作、映像制作、教育、出版事業	季節ごとの田畑の作業 ①瓦ステップ・瓦チップづくり ②田植え ③稲刈り ④脱穀	①4月27.28日 ②5月3日 ③10月1.6日 ④10月29日	ちんじゅの森サロン「ほぐほぐ」	①3名 ②4名 ③1名 ④1名 合計9名	①13名 ②14名 ③10名 ④6名 合計43名	①0 ②0 ③0 ④0 合計0千円

#### 「ちんじゅの森サロン」オープニング

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(2) ちんじゅの森の知恵の普及啓発活動を主とした教育、音楽制作、映像制作、催事事業 / (4) コミュニティとしての『ちんじゅの森づくり』活動に関する音楽制作、映像制作、教育、出版事業	新たな拠点での関係づくり ①オープニングパーティー ②『人生フルーツ』上映会	①4月20日 ②6月8日	ちんじゅの森サロン「ほぐほぐ」	①6名 ②5名 合計11名	①37名 ②33名 合計70名	①100 ②50 合計150千円

#### 「月の宴」

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(2) ちんじゅの森の知恵の普及啓発活動を主とした教育、音楽制作、映像制作、催事事業	中秋の名月を五感と身体で味わう舞台芸術	9月12日	赤坂日枝神社	30名	270名	1,571千円

#### 「ちんじゅの森の物語」

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(2) ちんじゅの森の知恵の普及啓発活動を主とした教育、音楽制作、映像制作、催事事業	親子向けの日本の伝統文化に親しむエンターテイメント ①こどもの日おやこのつどい ②秋のめぐみおやこのつどい	①4月29日 ②11月17日	靖国神社	①5名 ②7名 合計12名	①100名 ②70名 合計170名	①200 ②150 合計350千円

※(No) は、定款で定めた該当する(事業の種類)を示します。